

与信管理 DAY

新型コロナショックで激変した ビジネス環境と与信管理

新型コロナウィルスの感染拡大はまだ収束が見えず、社会・経済に多大な影響を与えています。

出口の見えない現状をどう乗り越えるか見通しが立っていない企業、経済が回りはじめても事業収益力を超過した過剰債務に苦しむ企業も多くなるとも言われています。

コロナに加え、国際政治の影響や気候変動などに起因した自然災害の影響によるサプライチェーンの寸断リスクも増大しており、倒産の連鎖の引き金にもなりかねません。

本年の与信管理DAYでは、刻々と変化する環境のなかで求められる先を見据えた与信管理の考え方や関連ソリューションをご紹介します。



会場での聴講 東京会場・大阪会場

受講料

会場参加・ライブ配信
いずれも
無料

|| LIVE || オンラインライブ配信 東京会場

大阪

11月2日(火) 13:00~16:55

日本経済新聞社 大阪本社カンファレンスルーム
(大阪市中央区高麗橋1-4-2)

定員:80名 申込締切 10月26日(火)

東京

11月10日(水) 13:00~16:55

日経ホール (東京都千代田区大手町1-3-7) [ライブ配信もあり]

定員:250名 申込締切 11月2日(火)

|| LIVE || オンラインLIVE配信 申込締切 11月8日(月)

主催 日本経済新聞社

特別協賛 coface FOR TRADE TSR ほか

申し込み方法 下記URLへアクセスして必要事項をご記入の上、申し込みください。

https://esf.nikkei.co.jp/e/ssf_yoshin2021/

または 日経イベント&セミナー 検索



会場での聴講の方

※申込者多数の場合は抽選になります。抽選結果は、当落に関わらずご入力いただいたメールアドレスにご連絡いたします。(大阪会場は10/27、東京会場は11/4を予定)※本フォーラムはやむを得ない事情でWEBライブ中継のみに変更させていただく場合もございます。ご案内が開催直前になる場合もございますが、あらかじめご了承ください。コロナウイルスによる新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染予防のため、ご参加の際はマスクの着用にご協力をお願いします。会場内には消毒液を設置いたします。受講席についても座席間の空間を広くします。またご来場時に体温を計測させていただきます。咳や発熱などの症状がある方は、入場をご遠慮いただく場合がありますのであらかじめご了承ください。

WEBライブ配信で 視聴の方

※ご登録されたメールアドレス宛に視聴のご案内メールをお送りいたします。
※視聴可能になりましたらフォーラムのログインページにアクセスし、ID/パスワードを入力してログインしてください。(ID/パスワードはご案内メールに記載いたします)
※インターネット環境があれば、通常のブラウザで視聴可能となります。※視聴いただく環境によって、ご覧いただけない場合もあります。また視聴にかかる通信費等は視聴する方の負担となります。※事前の視聴環境チェックをお願いします。
※右記サイトよりデモ動画が視聴できるかの確認をお願いします。https://ystream.biz/livecheck/

●視聴ページのURLを第三者に提供することは禁止いたします。●オンラインセミナーの録音・録画・撮影は禁止です。●登壇者、および他の参加者への中傷、脅迫、いやがらせに該当する行為はおやめください。●上記禁止事項が認められた場合、今後のセミナー等へのご参加をお断りする場合がございますのでご了承ください。

お問い合わせ先

日経産業新聞フォーラム「与信管理DAY」事務局

☎ 03-6812-1065 ✉ yoshin@nikkeipr.co.jp

※平日10:00~12:00 / 13:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

基調講演 | 13:00~13:40

水面下で膨らむ倒産リスクとポストコロナ

株式会社東京商工リサーチ
常務取締役 情報本部長

友田 信男氏

長引くコロナ禍のなか、企業倒産は半世紀ぶりの低水準で推移している。4-6月期のGDP(国内総生産)は年率換算1.3%増のプラス成長となったが、サービス業が伸び悩みなど規模と業種の二極化は拡大している。また、コロナ関連支援は資金繰り緩和と倒産抑制に大きな効果をみせたが、1年半を過ぎ「過剰債務」という新たな問題を生じている。水面下で高まる倒産や廃業リスクの実態とポストコロナを説いた展開をみる。



企業講演 | 13:40~14:20

不均衡な回復の中における与信管理と 取引信用保険の必要性

~コロナ禍による不確実性への対策~

コファスジャパン信用保険会社
営業部本部長 兼
コファス・サービス・ジャパン株式会社取締役

杉井 淳氏

18か月以上継続しているコロナ禍から、封鎖措置の繰り返し、ワクチンの開発・接種、ウイルスの変異株の発生等がみられている。世界経済の成長が予想される中で地域・国ごとの状況に応じて回復のペースは異なっている。その様な環境の中で、日本企業は国内・海外での事業展開をする際に、変動するリスクへの対応が常に要求される。その不確実性に応じて、コファスの提供する取引信用保険を含む与信管理サービスの有効活用を紹介する。



基調講演 | 14:30~15:10

中国内販与信リスクへの抗い方 ~レジリエントな中国の本質を踏まえて~

一般社団法人与信管理協会 代表理事
千葉商科大学大学院 客員教授

大宮 有史氏

全世界で未だコロナ禍から抜け出せない状況の中、いち早く収束の兆しを見た中国のレジリエンスは本物であろうか。またビジネスの世界、特に中国の内国での取引において、今まで以上に留意する必要性やリスクを踏みながらも対抗していく与信管理上の術はどのような点であろうか。中国の本質と自らの経験も踏まえてこの課題に向き合っていく。



企業講演 | 15:10~15:50

コロナ禍における グローバルリスクマネジメントのあるべき姿

株式会社東京商工リサーチ
営業本部 部長

渡部 博史氏

コロナ発生当初の大方の予想に反し、倒産は抑制された状況が続いている。この状況は海外にも当てはまる。VUCAの時代を迎え従来の経験と常識が通用しなくなった今、リスクマネジメントに携わる担当者が考えるべきことは何かをコロナ禍におけるグローバルリスクマネジメントのあるべき姿から考察。そして、TSRのデータとアナリティクスを駆使することで、如何に今後を見通していくのか、その処方箋についてご紹介する。



企業講演 | 15:55~16:15

調整中

特別講演 | 16:15~16:55

危ない会社の見分け方~事故は人災~

日本CFO協会 主任研究委員
元千葉商科大学大学院 客員教授 博士

末松 義章氏

新型コロナショックなどの外的要因とともに、内的要因によっても倒産に繋がるといふことも注意が必要である。企業統治や経営者の資質に問題があって事故が起こり、そして倒産に至るといふ事例も少なくない。こうした事例を交えて企業統治のあり方、企業との付き合い方について考察する。

